

保育着の取り扱いについて

当園では外遊びなど活動量の多い遊びを多く取り入れている為、保育着は高機能な素材を使用したブランドを採用しております

※保育着(ズボン・帽子以外)は世界的アウトドアブランド『モンベル』を採用

汗をかいてもすぐ乾く高機能な素材なため綿のように汗で身体が冷える心配も無くコットンのような風合いがあり保育着1枚だけで快適に過ごすことができます

※お昼寝時に汗冷えしない為にも体調が良いときは保育着1枚で入室してください

保育中

遊びや食事で汗をかいたり汚れた場合は都度 新しい保育着に着替えております

初夏～秋

年齢が低い子どものほど発汗機能が未熟で暑熱順化が大人が少ないため熱中症のリスクが高まります

冷房等は一般家庭より早い時期から使用し深部体温が上がりすぎないように調整しておりますこのため大人には冷っとすることもあります子どもに合わせた調整ですのでご理解ください

秋～春

子どもは外気温が体温より寒くなり手足が冷たくなっても深部体温が大人と同程度を維持できます(手足の皮膚表面を冷たくすることで深部が冷えないように体温調整が機能します)体温が維持できるため運動すれば直ぐに体温が上昇し汗をたくさんかきますので

外出時には防風性と通気性を備えた温かく蒸れないジャケットを使用して公園で汗をかいても体が冷えることなく過ごすせよようにしております

※冬期の空調は活動の無い大人には寒く感じますが 子どもが走り回っても快適に過ごせる温度設定になっております

乳児(0歳児クラス)の場合

- 箕面市の認可保育園では夏期6月～9月頃にかけて熱中症指数28以上になると園庭を含め野外には出ることはできません
- 乳児(歩行前)は主に室内で過ごし天気が良い日は保育士が服装を気候に合わせて園庭過ごしたりやベビーカーで散歩を行います

注意:ヒートテックはレーヨン繊維を含むため乾きにくく汗による冷えを起し体調不良の原因となるため、活動の多い当園ではお勧めできない商品です

参考書籍

・体温Ⅱ～体温調節システムとその適応～ 2010 第1版

編集:大阪国際大学教授 井上芳光 神戸大学教授 近藤徳彦